

コロナ禍での作業療法 実践報告

コロナ禍における作業療法実践報告を通して、他施設・他領域の方々と情報交換を得る機会を設けました。さまざまな状況、立場でご苦労されている方も多いと思いますが皆様の臨床現場に少しでも役立つ機会となればと考えております。

今回、身障・精神領域から感染対策含め実際の取り組みを臨床現場から報告致します。
コロナ禍においての日々の疑問や悩みを多くの参加者と共有していきたいと思っております。

【日時】2021年9月17日（金）18時00分～20時00分

【方法】Zoomによるオンライン開催

【参加費】1000円（非会員2000円） ※支払方法は、イベントペイにて

【タイムスケジュール】

17時45分 開場

18時00分 インフォメーション



実践Ⅰ

- 身体障害領域 COVID-19の急性期病棟での実践と感染対策について
報告者：多摩北部医療センター 深澤 敦

実践Ⅱ

- コロナ禍で生まれた新たな作業療法「虹ネット」の試み
報告者：小平中央リハビリテーション病院 有賀 正亮

実践Ⅲ

- 精神障害領域 コロナクラスターの経験と再開に向けた取り組み
報告者：武蔵野中央病院 田中 庸之

18時05分 各発表者からの実践報告（各30分）

19時35分 ディスカッション（情報交換）

20時00分 終了

申し込み方法：以下のURLまたはQRコードからお申込みください

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=5238587945919649&EventCode=P354334168

お問い合わせ Mail ot.kitatama@gmail.com 担当 杏林大学 原田

主催：東京都作業療法士会 北多摩ブロック

